

安全衛生管理の取り組み

労働災害を防止し、安心して働ける職場環境を創造するため、労働安全衛生マネジメントシステムの構築・運用や、各種研修会および安全監査の実施など、さまざまな取り組みを進めています。



地域社会との共生

三井金属グループは、良き企業市民として地域社会に貢献し、地域に住む人びとの間に強固な信頼関係を築くことを企業発展の基礎条件と認識しています。この考えに基づき、有害物質の排出削減や鉱山跡地の活用、地域からの雇用促進、清掃活動など、多様な社会貢献活動を展開しています。

労働安全衛生マネジメントシステム

システム定着に向けた諸活動を展開しています

三井金属グループでは、働きやすい職場環境を作り上げる仕組みとして労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を安全衛生行動計画に織り込み、2004年度より全所社での構

築を進めてきました。2008年7月には、対象の37所社すべてにおいて構築が完了。現在は、システムの定着に向け、定期的なRAや内部監査の実施、KY活動の推進等に取り組んでいます。

労働安全衛生関連研修会と安全監査

研修と監査を通じて、安全な職場づくりに努めています

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、2004年から全所社を対象に労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。また、リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社でも2年に1回は安全監査を実施しています。監査においては、リスク評

価、危険予知、ヒヤリハットなどの安全活動の状況、ならびに労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、システムとの整合性をチェック。システムの浸透により、各所社における安全成績向上のための取り組みを支援しています。

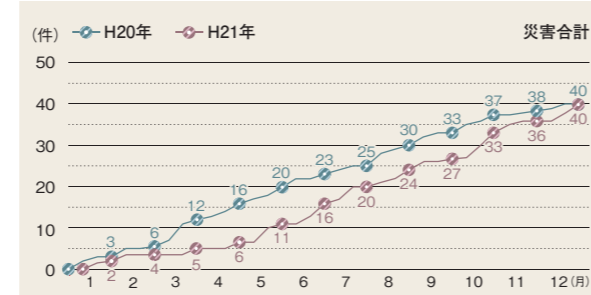
安全成績

「安全基本ルール」の遵守を指導しています

2009年のグループ全社災害件数は40件。昨年と同数で、過去最低となっています。内休業災害は13件と昨年より2件減少しました。

設備や管理面の不備だけでなく、法令や安全基本ルールが守られていなかったことに起因する災害が多発しています。こうした状況を受け、三井金属グループでは、管理監督者に手本となる行動を取るよう指示するとともに、作業員も安全基本ルールを熟知し、実作業の中で遵守するよう指導を強化しています。

全社災害件数推移(災害件数は、三井金属グループ[協力会社含む])



安全への取り組み

災害予防の取り組みを強化しています

三井金属グループ各所社では、災害予防(予防安全)に重点を置いた取り組みを進めています。RAを実施し、リスクの大きい不安全状態にある設備を改善するとともに、不安全行動による災害を低減するためのKY活動を継続しています。

各所社では、「目に訴える安全の仕掛け」を展開し、全社統一の「安全基本ルール」や「安全最優先」を記した大型掲示板の標示、災害発生場所の標示、横断歩道や階段での指差呼

称項目の標示などを行っています。また、安全衛生意識の向上を図るため、階層別安全教育やKY教育、安全体感教育を実施。さらに、RA抽出やKYTの一環として、作業員との対話・コミュニケーションに重点を置いたパトロールを就業日、公休日を問わず実施しています。



安全体感教育

有害物質の排出削減

八戸製錬(株)八戸製錬所周辺の大気環境中の砒素濃度を大幅に低減しました

八戸製錬(株)八戸製錬所は、排ガスに含まれる砒素化合物濃度を低減するために、スラグフューミング炉、発電所、熱風炉などの製錬設備の改善や湿式電気集じん機の設置等を進めてきました。

- 2006年 ● バッグフィルターの材質変更によるダスト捕集率向上
- 排ガス温度最適化によるバッグフィルターのダスト捕集率向上
- バッグフィルターの出口にダストモニター設置
- 2007年 9月 ● 湿式電気集じん機稼働開始(スラグフューミング炉の排ガス処理設備として)
- 2008年 7月 ● 湿式電気集じん機稼働開始(火力発電所の排ガス処理設備として)
- 2009年 3月末 ● 湿式電気集じん機稼働開始(熱風炉の排ガス処理設備として)

上記の取り組みにより、八戸製錬(株)八戸製錬所周辺の大気環境中の砒素濃度は大幅に低減し、2008年度は全国の平均値(2ng/m³)まで低下しました。



スラグフューミング炉の排ガス処理設備



発電所の排ガス処理設備



熱風炉の排ガス処理設備

地域貢献活動

工場周辺の清掃活動により地域に貢献しています

三井金属グループは、工場周辺の環境美化を重要な地域活動のひとつと考えています。2009年度は、竹原製錬所(広島県竹原市)、特殊銅箔事業部(埼玉県上尾市)で清掃活動を実施しました。



広島県竹原市の場海水浴場



埼玉県上尾市芝川